



安曇野の残したい風景

自然の景観が文化財

安曇野は自然豊かな田園風景が広がる地域です。長い歴史の中で作り上げられてきた景観は、道がつくられたり、田畑が住宅地化して次第に変化の兆しを見せています。いわゆる都市的な景観になりつつありますが、私たちの地域には私たちの地域独特の広い屋敷どり・建物様式・屋敷林などこれからも伝え、残したい風景が何気なく各所に残っています。

安曇野はどこをみても、観光地でもあります。

西にそびえる高い山（日本アルプス）は、安曇野のシンボルでもあり恵みももたらしてくれます

常念岳の常念坊の雪形は春先の農事の目安。



広々と広がる田園風景は安曇野の
豊かさの象徴でもあります。



江戸時代に開発され、この堰が開発されたことによって、安曇野の西山
出麓堰田んぼが増えました。



安曇野の水は宝

安曇野は西に高い山を背負っていることによって、美味しい水に恵まれ、その水の恩恵を私たちは日々受けています。美味しい水そのものを飲むことも勿論ですが、水があることによって美味しいお米・野菜（特にセロリ）・わさびなどが特産物として、人々に知られ供給されています。

また、安曇野は清涼な気候で朝夕の寒暖差が激しい場所です。人々はその気候も利用して、りんご・梨・桃など美味しい果樹を作っています。それぞれが花を咲かせる時期は、満開の花の美しさも楽しめます。



穂高有明新屋の曾根原家
国の重要文化財です。サワラの木を
薄く割って葺いた屋根。風よけの石。
一度見る価値があります。



何気なく歩いてみると、こんな本棟造りの家を
あちこちで見かけることができます。家の中は
どうなっているんでしょうか？

M家の屋敷林

木の高さ、年輪はどのくらいでしょうか



湧水

西の高い山から扇状地を下って何年かかけて湧き出しています。湧水だからこそ植物や動物が生息しています。



牧の棚田

生物の宝庫です。地元の方々が手を入れ
てくださっているからこそその存在。

